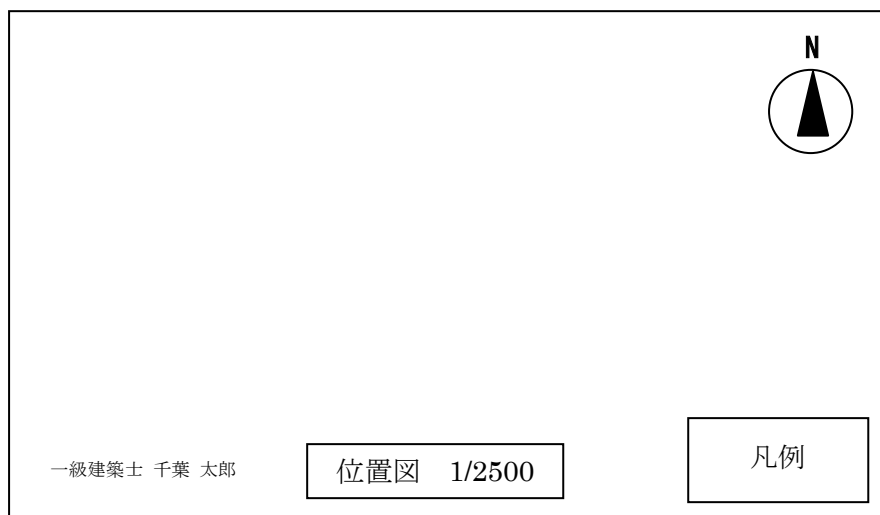


法第43条第2項第1号認定申請図面作成マニュアル

認定申請書に添付する提出書類（位置図、現況図兼計画図、現況写真、公図の写し）は、次のとおりです。

【1. 位置図】A3版（以下の図面も同様）



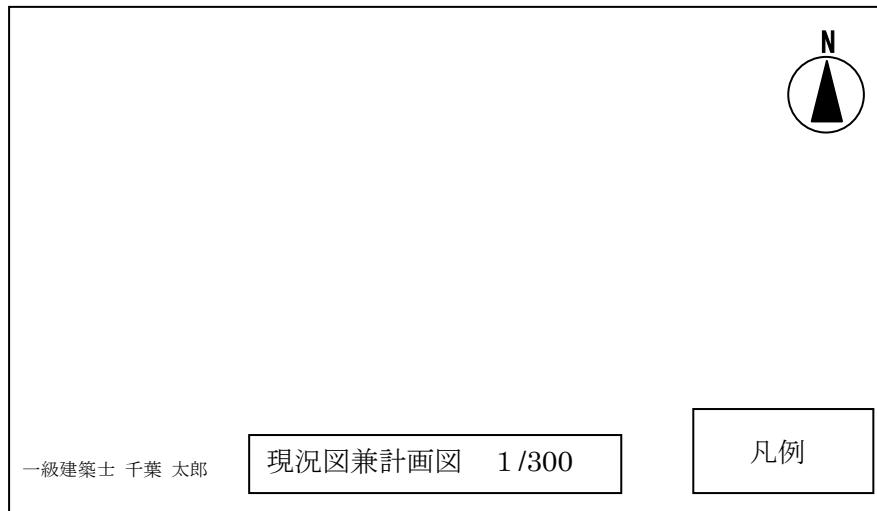
- ・ 千葉市都市図を使用する。
- ・ 道が接している一定範囲の道路（建築基準法上の道路）を緑色で着色する。
- ・ 審査対象の道を黄色で着色する。
- ・ 計画敷地は太く赤で囲み、持ち出し線で計画敷地と記載する。
- ・ 図面右下に凡例（※）を表示する。
- ・ 方位を表示する。
- ・ 図面作成者の資格と記名・押印をする。（例：一級建築士 千葉 太郎）

※凡例の記載例

凡 例	
	建築基準法上の道路（緑色）
	審査対象の道（黄色）
	計画敷地（赤色）

色塗り潰し
(注) 色塗り潰し
色囲い線

【 2. 現況図兼計画図】



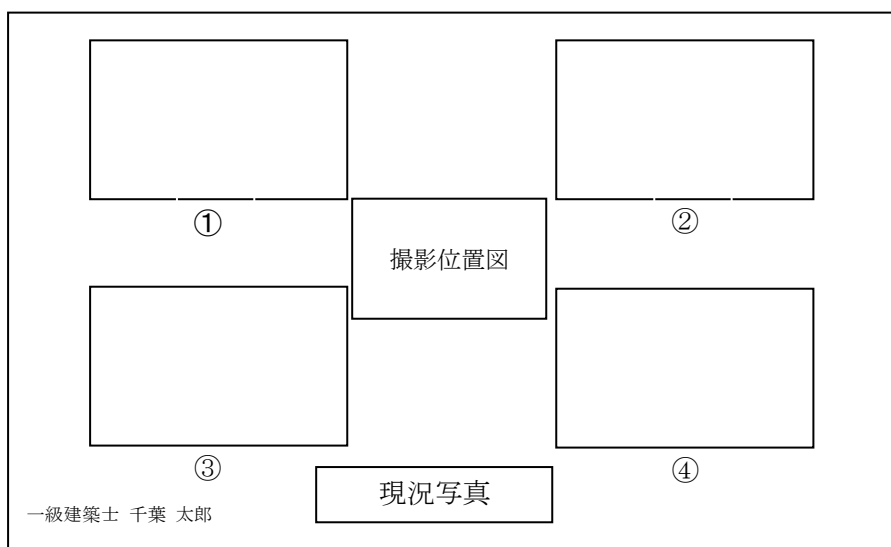
接続道路（建築基準法の道路）について

- ・ 道が接している一定の範囲の道路（建築基準法上の道路）を緑色で塗り、道路の中心線、幅員及び道路種別を記入する。
- ・ 法第42条第2項道路の場合は、道路中心線、現況幅員、後退距離、中心線から後退線までの距離（2m両側）、後退後の全体の幅員（4m）を記入する。
また、後退済みの道路境界線は実線で、将来後退する境界線は点線で記入し、全体の幅員を緑で着色する。

道について

- ・ 4 m以上の道の線は、実線で記入し黄色で着色する。（道の部分に「43 条 2 項 1 号」等と記入しない。）
- ・ 道の部分に仕様（アスファルト舗装又は砂利敷き）を記入する。
- ・ 道に接している敷地の形状、建物の用途、階数や土地利用状況（空地、駐車場、畑等）を記入する。範囲・縮尺は担当者と協議する。
- ・ 道、道に接している敷地、道路、計画敷地、計画敷地を±0とし、周りの高低差を記入する。（高低差は他の寸法と混合しないよう□囲いをして表示する。+○○○）
- ・ 道路から計画敷地までの道の長さ（道路中心線上にL=○○. ○m）を記入する。
- ・ 計画敷地は赤で囲み、計画建築物の外形線と配置寸法を記入する。また、玄関の位置に▲印を記入する。
- ・ 図面右下に凡例（位置図などと共通）を表示する。
- ・ 計画敷地の裏側の土地利用状況を記入する。
- ・ 方位を表示する。
- ・ 縮尺は通路全体をなるべく大きく表示できる縮尺とする。
- * 雨水・汚水の排水状況・計画について調査すること。
- * 給水の種類について調査すること。（県水か市水か井戸か）特に市街化調整区域の場合

【3. 現況写真】

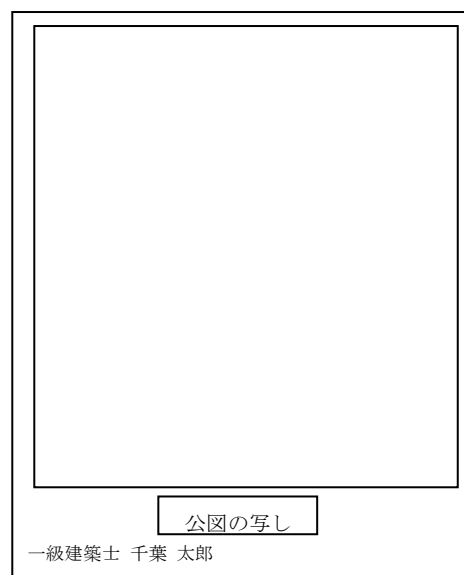


撮影ポイント 現況写真としては原則として最低4か所（必要により追加）

- ・ ① 道が建築基準法の道路と接している部分。（道路部分を緑色の線で示す）
- ・ ② 道路から道を撮った写真。（道の部分を黄色の線で示す）
- ・ ③ 道から計画敷地を撮った写真。（計画地は赤の線で示す）
- ・ ④ 道の奥から道を撮った写真。
- ・ その他必要と思われる場所。
- ・ 中心部分に、縮小した【現況図兼計画図】に写真の撮影方向と写真番号を記入した撮影位置図を表示する。
- ・

【4. 公図の写し】

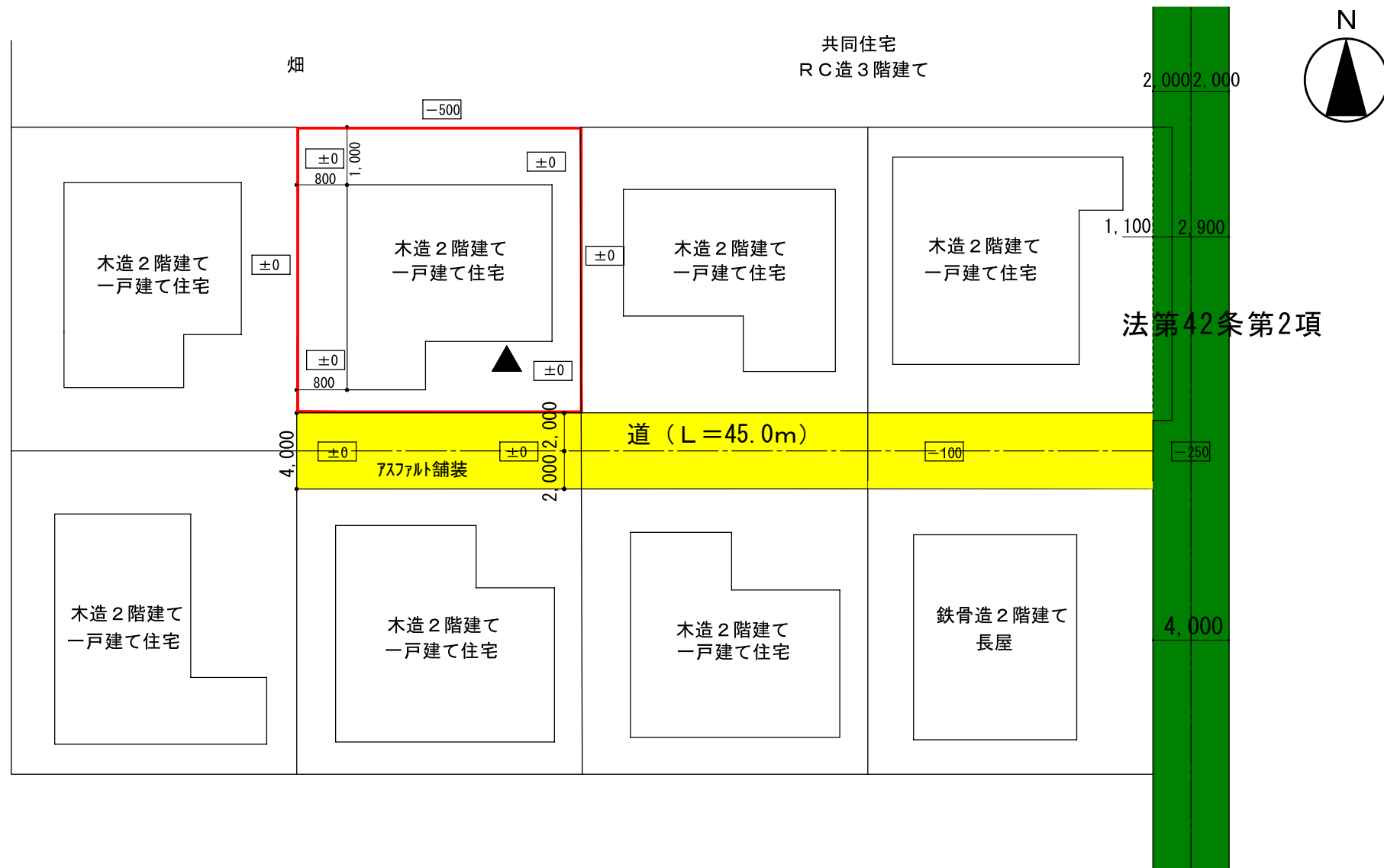
- ・ 位置図及び現況図兼計画図と同様に基準法上の道路（緑）、道（黄色）、敷地（赤囲い）の色をつける。



【1. 位置図】(例)



【2. 現況図兼計画図】(例)



一級建築士 千葉 一郎

現況図兼計画図 S = 1 / 3 0 0

凡例

-  建築基準法上の道路（緑色）
 審査対象の道（黄色）
 計画敷地（赤色）

1. 接続道路（建築基準法上の道路）について

- ・道が接している一定の範囲の道路（建築基準法上の道路）を緑色で着色し、道路の中心線、幅員及び道路種別を記入する。
- ・法４２条２項道路の場合は、道路中心線、現況幅員、後退距離、中心線から後退線までの距離（両側２ｍ）、後退線の全体の幅員（４ｍ）を記入する。また、後退済みの道路境界線は実線で、未後退部分の境界線は点線で記入し、全体の幅員（４ｍ）を緑色で着色する。

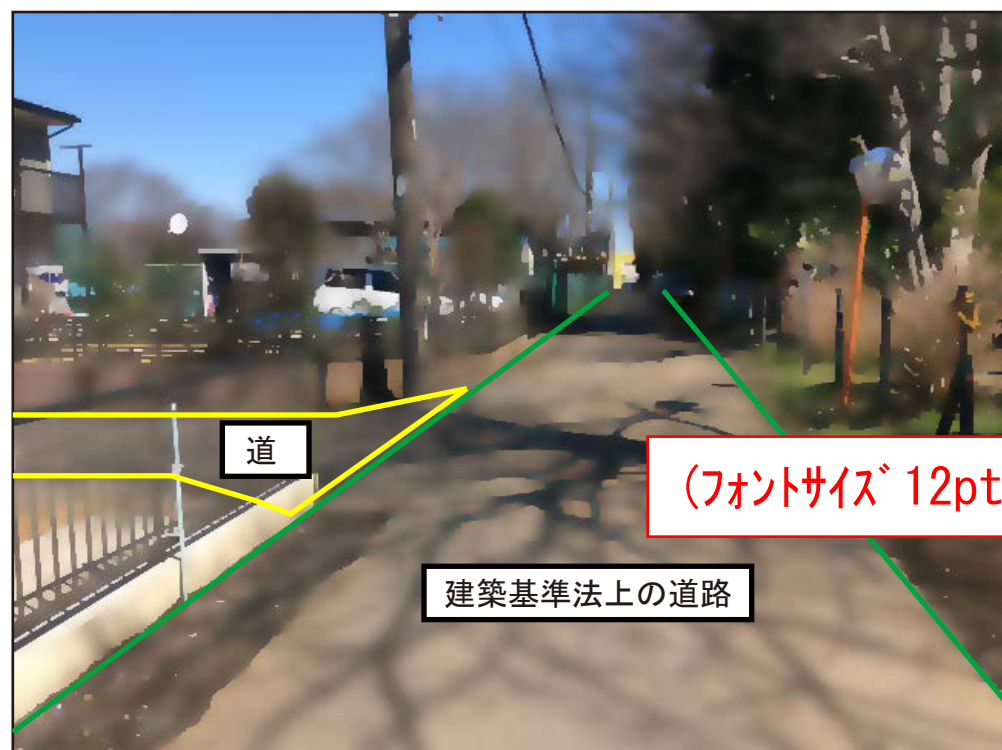
2. 道について

- ・4m以上の道の線は実線で記入し黄色で着色し、現況幅員、道路中心線を記入する。
- ・道にすみ切りがある場合は、斜辺の長さを記入する。（接続する道路が2項道路の場合は、斜辺の長さは後退線からの長さとする。）
- ・道に接している敷地の形状、建物用途、階数、土地利用状況（空地、駐車場、畑等）を記入する。範囲・縮尺は担当者と協議する。
- ・計画敷地を±0とし、隣接地、道、道路の高低差を記入する。高低差は他の寸法と混同しないように□囲いをして表示する。
- ・道路（2項道路の場合は後退線）から計画敷地までの道の長さを記入する。
- ・道に「アスファルト舗装」又は「砂利敷き」の舗装種別を記入する。

3. その他

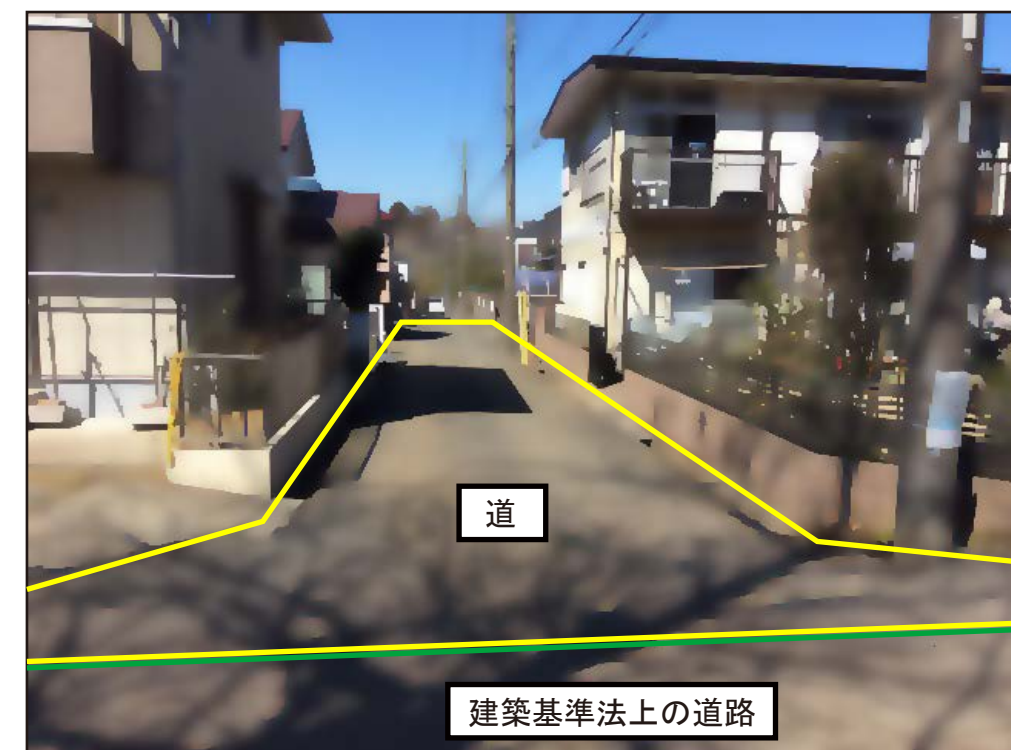
- ・計画敷地は赤線で囲み、計画建築物の外形線と配置寸法を記入する。また、玄関の位置に▲印を記入する。
- ・図面右下に凡例を表示する。
- ・申請敷地の裏側の土地利用状況（駐車場、空地、畑等）を記入する。
- ・図面のサイズはA3版で作成する。
- ・縮尺は道全体をなるべく大きく表示できる縮尺とする（1/250～1/300程度）

【3. 現況写真】（例）

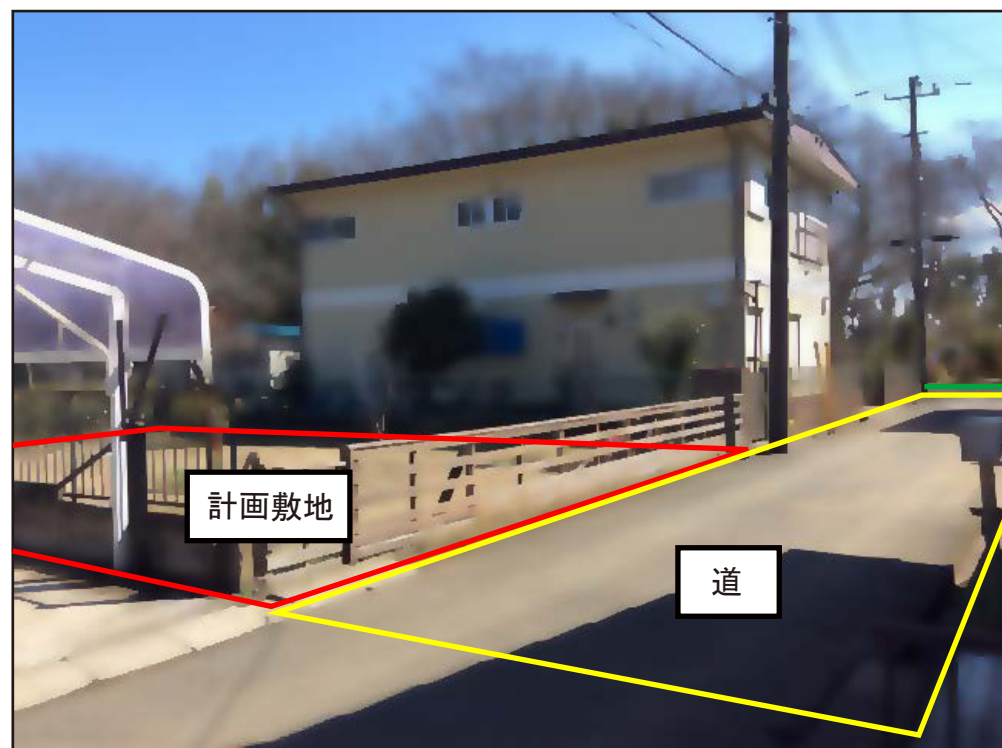


①

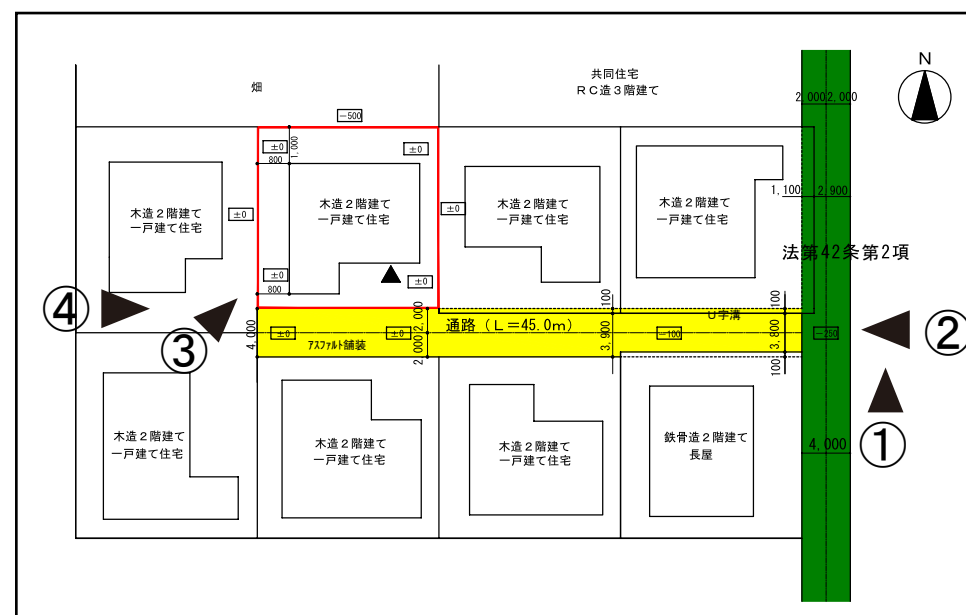
※実際には、鮮明な写真を添付してください。
・コントラストの小さいもの
・人や車等の写り込みがないもの



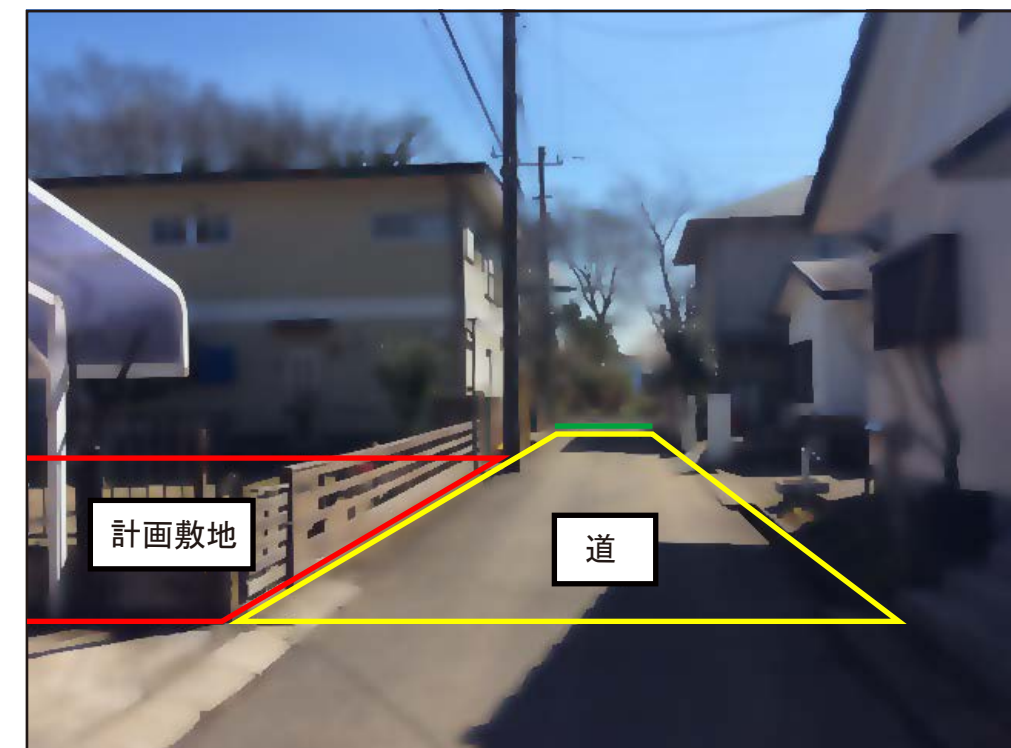
②



③



※撮影位置図（現況図兼計画図の縮小版）に
撮影方向と写真番号を追記する。



④

現況写真

(フォントサイズ 24pt程度)

【 4 . 公図の写し】（例）

